

●開催中の企画展

貴重資料から見る 台東区の道

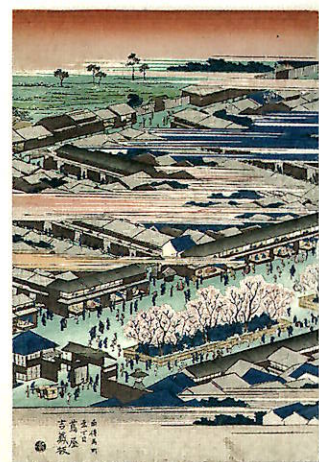
令和5年3月17日(金)～6月11日(日)

人の行き交う場所の地面が踏みならされ、できた通路が“道”の起こりです。やがて道は、より往来が容易になり、物資の運搬が可能となるよう舗装・整備され幅の広い道路へと発展していきます。

本企画展では、台東区中央図書館で所蔵している浮世絵、絵はがき等の貴重資料から、台東区の様々な道をご紹介します。



▲名所江戸百景 下谷広小路



▲東都名所 新吉原五丁町弥生花盛全図(部分)

関東大震災と復興 —台東区の大正・昭和—  
6月16日(金)～9月18日(月・祝)

関東大震災とその復興の軌跡を、図書館資料を用いて多角的に見つめ直します。

■ギャラリー・トーク、トーク・イベント開催



▲(帝都大震災画報其三) 浅草広小路及仲見世附近延焼之惨状(部分)

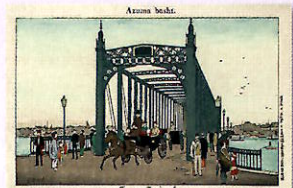
講演会 江戸の変化朝顔(仮) 7月上旬

台東区の橋

9月22日(金)～12月17日(日)

台東区には、川にかかる橋、線路をまたぐ陸橋、地名に残る橋など、多くの橋があります。浮世絵や絵はがきで台東区の橋の歴史を紹介します。

■ギャラリー・トーク開催



▲Azuma bashi. 吾妻橋

日記が語る台東区10 花見の日記

12月22日(金)～令和6年3月17日(日)

没後200年を迎えた大田南畝(1749-1823)の「花見の日記」のほか、台東区と花見に関わる資料を紹介します。

■ギャラリー・トーク、スライド・トーク、講演会開催



◀上野寛永寺の桜 (『江戸名所花暦』)

台東区の地図(仮)

令和6年3月22日(金)～6月16日(日)

台東区立中央図書館 郷土・資料調査室

〒111-8621  
東京都台東区西浅草3-25-16  
TEL. 03-5246-5911  
<https://www.city.taito.lg.jp/library/index.html>

【開館時間】  
月～土曜日 午前9時～午後8時  
日曜・祝日 午前9時～午後5時  
【アクセス】  
■つくばエクスプレス「浅草」駅  
A2出口から徒歩8分  
■地下鉄日比谷線「入谷」駅 徒歩8分  
■北めぐりん・南めぐりん  
「生涯学習センター北」徒歩3分  
「生涯学習センター南」徒歩3分  
■都バス「入谷二丁目」停留所 徒歩3分



郷土・資料調査室報

2023 令和5年3月 第13号

郷土・資料調査室の貴重資料を紹介するコーナー  
書庫を繙く



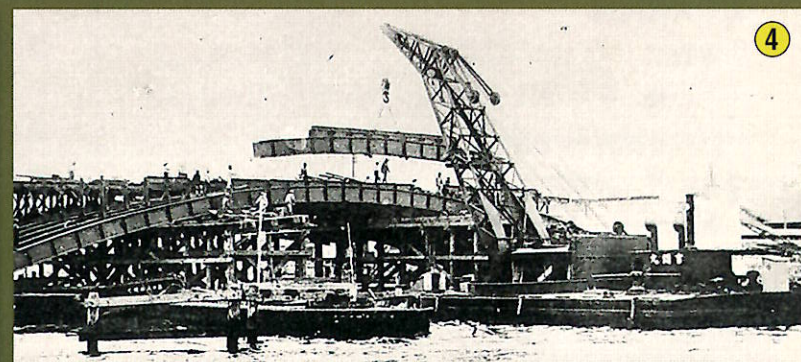
1



2



3



4



5

- 1 絵はがき 上野駅焼跡(部分)
- 2 絵はがき (東京名所) 新装なれるモダン上野駅
- 3 (帝都大震災画報其五) 新吉原仲之町通焼火大旋風之実況(部分)
- 4 絵はがき 桁架工事(蔵前橋)(部分)
- 5 絵はがき 浅草小学校落成記念 屋上/正門(部分)

今年、関東大震災からちょうど100年にあたります。大正12年(1923)9月1日に起こった大地震は、東京・神奈川を中心に甚大な被害をもたらし、台東区内にも大きな傷跡をのこしました。しかしながら、大正末年から昭和初期には東京は近郊も含めて拡大し、「大東京」と銘打ち、震災前とは比べものにならないほど発展を遂げました。以下では、当館が所蔵する大正・昭和初期に印刷発行された資料から、関東大震災とその復興状況がわかる例を見ていきます。

大きく変化したのは交通です。鉄道では、明治18年(1885)に完成した上野駅の駅舎は躯体だけを残し焼け落ちましたが(1)、震災復興の象徴のように式典が開催され、モダン駅として生まれ変わりました。利用者の安全を考え、乗客は1階の車寄せから列車ホームへ、降車客は地下1階の車寄せへと動線を別々にしました(2)。

震災の状況は写真に撮られ、写真雑誌や写真絵はがきに掲載されましたが、当時の臨場感を表現する上で絵画も使われました。「帝都大震災画報」と銘打った石版画シリーズは、大地震から1か月後の9月30日に印刷されました。当時のカメラではとらえられない、火災旋風を劇的に表現しており、被災者の荷物、戸板など

が竜巻状の炎にまかれており、見る者に何が起きたのかを視覚的に教えてくれる資料です(3)。このシリーズには、浅草仲見世を逃げ惑う図(4ページ参照)や、炎上する花やしきの象など印象に残る場面が多く描かれています。

避難時に障害となった狭い道路や焼け落ちてしまった橋は、広く頑丈に建て直され、また新たに建築されました。特に隅田川に新たに建てられた「隅田十橋」は注目され、架橋工事の様子が絵はがきとして売り出されました(4)。蔵前橋は、東京市復興局が計画し、昭和2年(1927)に竣工した橋で、震災までこの地点には橋はありませんでした。また、架橋と同時に道路が整備され、道路幅が広い蔵前橋通りが生まれました。

そして町の景観が大きく変わった要素の一つに、公共施設の新築があります。区役所や区立小学校、区立公園などに、当時のモダンなデザインが採り入れられました。今建物は新しくなっていますが、浅草小学校の正門には、連続するアーチ型の窓、カーブした玄関ルーフなど、当時人気だった曲線・曲面を意識したデザインにあふれています(5)。

以上の資料を展示する企画展「関東大震災と復興—台東区の大正・昭和—」を、本年6月16日(金)から開催予定です。

# 郷土・資料調査室紹介

## 郷土・資料調査室所蔵の地図

郷土・資料調査室では、多種多様な地図を収集・保存しています。それらは大きく分けて以下の方法で公開提供していますので、皆様の目的に合わせてご利用ください。

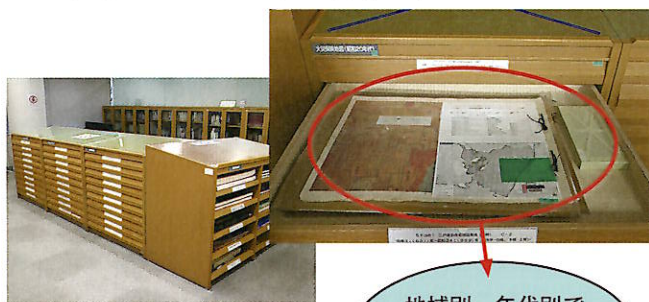
また各地図は、著作権法の範囲においてコピーが可能です。

### ■ 地図棚

おもにサイズの大きい地図が収納され、年代別・地域別で分かれています。

- ①地形図
- ②火災保険図
- ③地籍図
- ④その他、江戸時代から近年にかけての東京や台東区の各種大判地図

中でも、②火災保険図は戦後すぐの台東区の住宅地図で、利用されることが多い資料です。



地域別、年代別でわかりやすく収納されています。

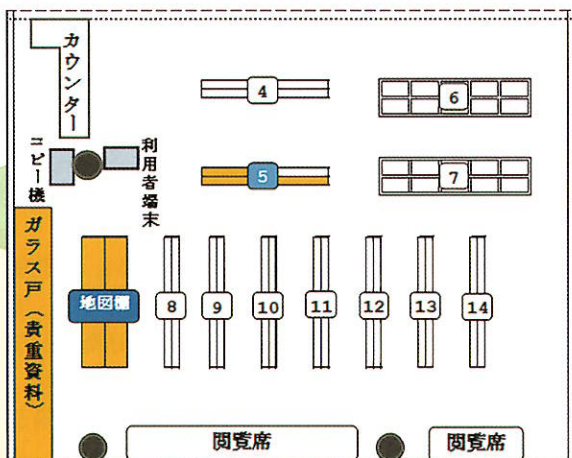
### ■ ガラス戸

貴重な地図が収納されています。

東京の地図は、江戸時代～昭和時代

台東区の地図は、江戸時代～昭和時代

その他、台東区内の公園図、土地利用現状図などご利用になる際は、カウンターまでお声がけください。



▲郷土・資料調査室 略図  
黄色の棚に地図があります。

### ■ 棚5

おもに住宅地図が収納されています。

- ①ゼンリン住宅地図
- ②ブルーマップ
- ③航空地図



カウンターから見て右側に台東区関連の①～③があります。左側には、近隣区のゼンリン住宅地図が収納されています。

### ■ デジタルアーカイブ

貴重資料として、台東区立中央図書館が所蔵している地図を公開しています。

画像をクリックし、拡大して見るすることができます。

また、棚5のカウンターから見て左側には、デジタルアーカイブに公開している貴重資料の分割地図があります。



キーワードやジャンルから検索することができます。

### ■ パスファインダー

住宅地図については、郷土・資料調査室で配布しているパスファインダー「郷土No.4 台東区の住宅地図(明治以降)」でご紹介しています。

パスファインダーはインターネットでもご覧いただけます。



# 令和4年度の企画展

## 塔

3月18日(金)～6月12日(日)

台東区には様々な塔が建てられてきました。天慶5年(942)に建てられた浅草寺五重塔(昭和48年(1973)に再建)、谷中天王寺五重塔、明治・大正期の凌雲閣などすでになくなってのものもありますが、いずれも地域の象徴として親しまれ、多くの作品に描かれてきました。

本企画展では、台東区中央図書館で所蔵している浮世絵や絵はがき等の資料を用いて、台東区の塔を紹介しました。

### 関連企画

◆五重塔を探せ!(クイズ) ◆押し塔投票 ◆この塔は何?(クイズ)

関連イベント ◆図書館員によるギャラリー・トーク 4月24日(日)・6月5日(日)



▲浅草寺大塔解説

## 台東区の古代・中世

6月17日(金)～9月11日(日)

台東区の歴史をふりかえる際、古代・中世の出来事は、資料が少ないので、これまであまり触れられることはありませんでした。しかし後に続く時代、近世(江戸時代)に目を向けると、古くからの伝承やそれを題材とした物語などに古代・中世の面影が見えることがあります。

本企画展では、今まであまり語られることのなかった台東区の古代・中世について、おもに江戸時代の地誌から紹介しました。



▲江戸の花名勝会 ち十番組 猿若町 猿若芝居町 市川海老蔵(部分)

### 関連イベント

◆トーク・イベント 「台東区・墨田区の古代・中世」 7月16日(土)

「地誌に見る台東区の古代・中世」平野恵(当館専門員)

「隅田川兩岸の古代中世の名所」小山貴子(すみだ郷土文化資料館学芸員)

◆専門員によるギャラリー・トーク 8月7日(日)・28日(日)

## 台東区の寺

9月16日(金)～12月11日(日)

台東区には数多くの寺院があります。浅草寺を中心に発展してきた浅草、多くの子院を有する寛永寺の建つ上野。江戸時代、城下町の形成や明暦の大火を機に移転してきた寺、街道沿いの寺。町名や坂、校名の由来になった寺など、その歴史は地域と密接に関わっています。

本企画展では、台東区中央図書館で所蔵している浮世絵や古地図、和本等の資料で台東区の寺を紹介しました。

関連企画 ◆お守り配布 ◆寺みくじ ◆絵馬

### 関連イベント

◆トーク・イベント 「台東区の寺」 10月16日(日)

「台東区の寺の特色と歴史」平野恵(当館専門員)

「寛永寺凌雲院と我孫子市龍泉寺」イサバル・田中・ファンダーレン(東京大学史料編纂所共同研究員)

◆図書館員によるギャラリー・トーク 11月24日(木)



▲東京真画名所図解 浅草東門跡(東本願寺)

## 日記が語る台東区9 饗庭篁村と馬琴日記

12月16日(金)～令和5年3月12日(日)

去年は台東区ゆかりの文学者、饗庭篁村没後100年にあたりました。下谷龍泉寺町に生まれた篁村は、新聞社に入り編集に従事するかたわら小説・劇評を執筆し、『当世商人気質』で高い評価を得、根岸党の中心人物として活躍しました。

本企画展では、篁村所蔵の曲亭馬琴の日記『馬琴日記鈔』をとりあげ、江戸の戯作者の日記が、明治の文学者にどのような影響を与えたかを見ていき、あわせて台東区を舞台にした篁村の作品を紹介しました。



### 関連イベント

◆特別企画 根岸図書館開館50周年記念スライド・トーク 「饗庭篁村と根岸」 12月17日(土) 平野恵(当館専門員)

◆専門員によるギャラリー・トーク 1月15日(日)

◆記念講演会 「饗庭篁村と根岸党」 2月18日(土) 出口智之(東京大学大学院総合文化研究科准教授)